



発達障害児を地域全体で支える社会を目指して 「児童発達支援実践研究報告会」を開催します！

3月1日（日曜）、東京女子大学（善福寺2-6-1）で、区立こども発達センター（高井戸東1-18-5）が、「児童発達支援実践研究報告会」を開催します。この報告会は、発達障害児が地域の中で健やかに成長し生活することができるよう、地域との関わりを持った児童発達支援事業所の取り組みを発表するもので、どなたでも参加することができます。発達障害児への理解を深め、社会全体で支援していきましょう！

未就学児に発達の遅れや心身の障害がある場合、早期に発見し、早期に療育を行うことは、発達を促すためにとても重要であり、区は未就学の発達障害児の早期発見・早期療育に積極的に取り組んでいます。

区内には、療育が必要な未就学児が、平成26年12月現在819名います。平成24年度の265名と比較し、約3倍となっており、今後も増加が見込まれます。

区は、療育が必要な全ての未就学児を受け入れるため、民間の児童発達支援事業所の設置促進を図っています。また、障害児への支援を充実させるため、こども発達センターにおいて、事業所への助言や相談業務なども行っています。

発達障害児が地域の中で健やかに成長し、生活するためには、家庭や適切な療育を行う事業所のほかに、発達障害児の通う保育園など関係機関との連携や、地域の人々の見守りやサポートが重要です。

そこで、こども発達センターでは、今年度から、事業所等の発達障害児に関わる情報共有と支援技術の向上を目的に、東京女子大学と協働で開催する「発達障害児地域支援講座」（全4回）において、最終回に「児童発達支援実践研究報告会」を実施します。この報告会は、発達障害児を地域全体で支える社会を目指して、発達障害児への理解を深めるとともに、連携・協力関係を築く手掛かりにさせていただこうと開催するものです。当日は、「発達障害児と地域」をテーマに、こども発達センターほか区内7事業所がそれぞれ行っている情報提供やスタッフ派遣といった地域支援の取り組みを紹介します。

発達障害児の支援に携わっている方をはじめ、これから関わりたいけれどどうすればいいか迷っている方など、関心のある方はどなたでも参加することができます。ぜひ、お越しください！

■児童発達支援実践研究報告会

- 【日時】 平成27年3月1日（日）午後1時～5時
- 【会場】 東京女子大学（善福寺2-6-1）※お車での来場はご遠慮ください。
- 【助言者】 勝盛宏 氏（河北総合病院小児科部長）
- 【司会】 柴山雅俊 氏（東京女子大学臨床心理センター所長）
- 【定員】 300人（先着順）※当日直接会場へ。
- 【問合せ】 杉並区立こども発達センター TEL：5317-5661（代表）

【問い合わせ先】

- 区立こども発達センター TEL：5317-5661
- 総務部広報課 TEL：3312-2111（代表）